

2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月10日
東

上場会社名 メック株式会社 上場取引所
 コード番号 4971 URL <https://www.mec-co.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室 (氏名) 坂本 佳宏 (TEL) 06-6401-8160
 室長
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	11,157	27.8	3,152	71.7	3,220	77.0	2,284	91.0
2020年12月期第3四半期	8,728	7.7	1,836	34.4	1,819	30.4	1,196	18.8

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 2,820百万円(135.7%) 2020年12月期第3四半期 1,196百万円(48.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	120.30	-
2020年12月期第3四半期	63.03	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	23,937	19,788	82.7
2020年12月期	21,510	17,470	81.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 19,788百万円 2020年12月期 17,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	12.00	-	14.00	26.00
2021年12月期	-	14.00	-	-	-
2021年12月期(予想)	-	-	-	21.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,600	22.1	3,750	58.2	3,850	61.2	2,750	72.3	144.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年12月期 3 Q	20,071,093株	2020年12月期	20,071,093株
---------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年12月期 3 Q	1,067,118株	2020年12月期	1,093,341株
---------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年12月期 3 Q	18,991,529株	2020年12月期 3 Q	18,977,758株
---------------	-------------	---------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- ・当社は、2021年11月10日(水)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明会資料は当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年9月30日)は、新型コロナウイルス感染症(以下、「感染症」という)の変異株の広がりにより一部で厳しい状況にありましたが、ワクチン接種が進み持ち直しの動きも見られました。

IMF(国際通貨基金)は10月の時点で2021年世界経済成長率を前年比+5.9%とし、7月の予測から0.1ポイント下方に改定しました。日本は+2.4%といずれも2020年のマイナス成長からの回復を見通すものの、依然として不確実性が高い状況にあります。

エレクトロニクス業界は、世界各国で加速する在宅勤務・学習の導入、デジタルトランスフォーメーション(DX)への投資や新しい生活様式への対応等の影響を受け、パソコンやモニターの生産が引き続き堅調に推移いたしました。また、データ量の増加や5Gへの切り替えを背景としたサーバー需要も継続いたしました。一方、タブレット端末には需要の高まりに落ち着きが見られ、自動車は半導体供給不足や東南アジアを中心とした感染症蔓延の影響を受け一部メーカーで減産がありました。半導体メーカーでは、IoTの広がりを背景に世界的な供給不足が続くなか、その業界全体で非常に大きな設備投資が進んでいます。また、今後の方向性として自動車を含めエレクトロニクス業界全体で脱炭素への取り組みが始まっております。

当社グループの関係市場である電子基板・部品業界は、エレクトロニクス業界の影響を受け、サーバーやパソコン、モニター向けの需要は堅調に推移し、特に当社と関連が深い半導体を搭載するパッケージ基板において需要の拡大が継続しています。

電子基板は、IoT、AI、5G等の技術の広がりを背景に、高密度化や技術革新が進んでおります。これらの関連市場は引き続き高い成長が見込まれ、注目が集まる移動通信システムは、高速大容量の第5世代(5G)への切り替え、普及に向け取り組みが更に活発化しています。また、次世代データセンターに関係する高性能パッケージ基板向けの生産体制強化に向けた積極的な設備投資が進展しております。

このような環境のもと、当社グループは高密度電子基板向け製品の開発、販売に注力いたしました。前年同期と比較した主要製品の売上動向としましては、半導体を搭載するパッケージ基板向けに高いシェアを持つ超粗化系密着向上剤「CZシリーズ」は強い半導体需要を背景に、ディスプレイ向け「EXEシリーズ」も関連する電子機器の需要により大きく増加しました。多層電子基板向け密着向上剤「V-Bondシリーズ」は、関連する自動車市場復調の影響を受け、また「SFシリーズ」は関連する電子機器の需要の高まりに落ち着きが見られたものの堅調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は111億57百万円(前年同期比24億28百万円、27.8%増)となりました。販売費及び一般管理費は38億87百万円(前年同期比2億76百万円、7.6%増)となり、営業利益は31億52百万円(前年同期比13億15百万円、71.7%増)、売上高営業利益率は28.3%となり、前年同期の21.0%と比較し7.3ポイント改善しました。経常利益は32億20百万円(前年同期比14億円、77.0%増)となりました。税金等調整前四半期純利益は32億10百万円(前年同期比14億53百万円、82.7%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億84百万円(前年同期比10億88百万円、91.0%増)となりました。

売上高の内訳は、薬品売上高は109億41百万円(前年同期比25億3百万円、29.7%増)、機械売上高は1億40百万円(前年同期比95百万円、40.4%減)、資材売上高は57百万円(前年同期比11百万円、23.7%増)、その他売上高は16百万円(前年同期比9百万円、134.6%増)となりました。

海外売上高比率は56.7%となり、前年同期に比べ4.0ポイント増加しました。なお、日本国内代理店経由で販売した海外顧客への売上を海外売上高比率に含めた場合は、76.3%(前年同期比1.9ポイント増)となります。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

日本では、パソコンやサーバー、ディスプレイに関連する製品が引き続き好調に推移し、当第3四半期連結累計期間の売上高は50億12百万円(前年同期比7億31百万円、17.1%増)、セグメント利益は22億79百万円(前年同期比11億93百万円、109.8%増)となりました。

台湾では、サーバーに関連する製品は引き続き好調に推移したものの、ディスプレイに関連する製品に一部調整の兆しがみられ、当第3四半期連結累計期間の売上高は22億69百万円(前年同期比4億59百万円、25.4%増)、セグメント利益は3億16百万円(前年同期比46百万円、17.1%増)となりました

香港(香港、珠海)では、自動車に関連する製品が引き続き好調に推移したこと、また、タブレット端末関連の製品生産が中国(蘇州)から移管され、当第3四半期連結累計期間の売上高は13億87百万円(前年同期比6億1百万円、76.4%増)、セグメント利益は3億51百万円(前年同期比1億74百万円、98.3%増)となりました。

中国(蘇州)では、タブレット端末向け製品の生産が日本や珠海地区に移管されたものの、サーバーやスマートフォンに関連する製品が好調に推移し、当第3四半期連結累計期間の売上高は17億79百万円(前年同期比3億49百万円、24.4%増)、セグメント利益は3億70百万円(前年同期比1億24百万円、50.3%増)となりました。

欧州では、感染症の影響が続くなか、顧客の生産活動において持ち直しの傾向が見られ、当第3四半期連結累計期間の売上高は4億96百万円(前年同期比1億3百万円、26.3%増)、セグメント利益は71百万円(前年同期比20百万円、40.4%増)となりました。

タイは、今後拡大する東南アジア市場を深耕するために2017年5月29日に当社6社目の子会社を設立し、2019年9月から稼働しました。一部地域で感染症によるロックダウン等の影響があったものの、現地での営業活動や日本からタイへの当社製品生産地変更も進み、当第3四半期連結累計期間の売上高は2億11百万円(前年同期比1億84百万円増、676.9%増)セグメント損失は45百万円(前年同期は91百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度に比べて24億26百万円増加し、239億37百万円となりました。

負債は、売上増加に伴う仕入債務や未払法人税等の増加等により、前連結会計年度に比べて1億8百万円増加し、41億48百万円となりました。

純資産は、利益剰余金や円安による為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度に比べて23億18百万円増加し、197億88百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は82.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、本日(2021年11月10日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において、2021年8月10日に公表した通期連結業績予想を修正いたしました。

本資料に掲載されております予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,579,463	6,809,163
受取手形及び売掛金	3,620,577	4,506,616
電子記録債権	329,006	314,585
商品及び製品	415,861	583,835
仕掛品	159,982	151,711
原材料及び貯蔵品	350,560	510,143
その他	123,606	133,941
貸倒引当金	△3,558	△3,640
流動資産合計	10,575,499	13,006,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,037,708	7,539,959
減価償却累計額	△2,805,486	△3,047,568
建物及び構築物(純額)	4,232,222	4,492,390
機械装置及び運搬具	3,074,090	3,116,891
減価償却累計額	△2,137,588	△2,301,023
機械装置及び運搬具(純額)	936,501	815,868
工具、器具及び備品	1,277,402	1,397,165
減価償却累計額	△954,464	△1,025,797
工具、器具及び備品(純額)	322,938	371,368
土地	2,935,817	2,983,034
使用権資産	60,811	61,019
減価償却累計額	△20,657	△16,724
使用権資産(純額)	40,153	44,294
建設仮勘定	530,961	139,624
有形固定資産合計	8,998,594	8,846,581
無形固定資産	140,370	125,009
投資その他の資産		
投資有価証券	859,665	1,080,398
退職給付に係る資産	809,578	828,861
繰延税金資産	3,256	5,129
その他	123,788	44,911
投資その他の資産合計	1,796,289	1,959,301
固定資産合計	10,935,253	10,930,893
資産合計	21,510,752	23,937,250

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,263,258	794,404
電子記録債務	—	809,923
短期借入金	400,000	200,000
未払金	477,481	377,497
未払費用	143,020	116,274
未払法人税等	362,044	560,556
賞与引当金	317,936	468,889
役員賞与引当金	38,005	31,320
設備関係未払金	247,948	86,864
その他	278,982	205,391
流動負債合計	3,528,677	3,651,120
固定負債		
繰延税金負債	369,916	391,680
退職給付に係る負債	24,997	1,863
株式報酬引当金	79,699	61,531
その他	36,599	42,060
固定負債合計	511,213	497,135
負債合計	4,039,890	4,148,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	594,142	594,142
資本剰余金	541,273	541,273
利益剰余金	16,583,712	18,331,574
自己株式	△1,175,844	△1,141,003
株主資本合計	16,543,283	18,325,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373,484	445,234
為替換算調整勘定	363,902	856,966
退職給付に係る調整累計額	190,190	160,806
その他の包括利益累計額合計	927,578	1,463,007
純資産合計	17,470,862	19,788,994
負債純資産合計	21,510,752	23,937,250

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	8,728,245	11,157,073
売上原価	3,280,298	4,117,136
売上総利益	5,447,947	7,039,936
販売費及び一般管理費	3,611,576	3,887,740
営業利益	1,836,371	3,152,196
営業外収益		
受取利息	17,869	22,002
受取配当金	6,189	6,374
試作品等売却収入	8,298	5,417
為替差益	—	18,548
その他	17,341	19,847
営業外収益合計	49,697	72,189
営業外費用		
支払利息	1,527	682
売上割引	2,502	2,945
為替差損	56,762	—
その他	5,660	559
営業外費用合計	66,453	4,187
経常利益	1,819,615	3,220,198
特別利益		
固定資産売却益	492	651
投資有価証券売却益	2,018	—
特別利益合計	2,510	651
特別損失		
固定資産売却損	—	307
固定資産除却損	64,772	9,725
特別損失合計	64,772	10,033
税金等調整前四半期純利益	1,757,354	3,210,816
法人税等	561,098	926,044
四半期純利益	1,196,255	2,284,772
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,196,255	2,284,772

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,196,255	2,284,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75,286	71,749
為替換算調整勘定	△50,852	493,064
退職給付に係る調整額	△23,989	△29,384
その他の包括利益合計	444	535,429
四半期包括利益	1,196,699	2,820,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,196,699	2,820,201
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。